



まだ誰も知らない安心を、ともに。

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1

www.aioinissaydowa.co.jp

自動運転システムの開発を手掛ける Oxbotica との資本業務提携について

2023年1月11日

MS & ADインシュアランス グループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）は、オックスフォード大学発スタートアップ企業で自動運転システムの開発を手掛ける Oxbotica Limited(以下、Oxbotica)と 12 月に資本業務提携をしましたので、お知らせします。

1. 背景

自動車関連業界は 100 年に一度とも言われる大変革の時代を迎えており、様々な技術の進化と導入が急速に進められています。中でも自動運転技術は、交通事故の削減のみならず、高齢化・過疎化の進む地域における移動課題や人口減少による運行担い手不足といった社会課題解決が期待され、世界各国で特定条件下において無人自動運転が可能になる「レベル 4」の実用化に向け、研究・開発が進められています。

当社では、自動運転社会の到来を見据えて 2016 年より群馬大学と共同研究を開始し、レベル 3 以上の自動運転モードで走行中の運転分保険料を無料化する保険の開発や、国内外の自動運転関連企業と共に実証実験に参画するなど、様々なパートナーと自動運転技術に関する研究・協業を進めてきました。

Oxbotica は世界の様々な産業における自動運転プラットフォームになること（ユニバーサルオートノミー）を目指し、あらゆるモビリティに対応可能な自動運転システムを開発しています。2022 年 5 月には欧州の公道で初となる無人自動運転の実証実験を実施する等、非常に高い技術水準を有しています。

当社と Oxbotica は 2022 年 5 月に MOU を締結し、上記の無人運転実証実験に対し当社の 100%子会社である Aioi Nissay Dowa Europe Limited(以下、ANDEL)が無人自動運転車向け専用保険の提供を行う等の協業を進めてきましたが、今般、資本業務提携による更なる協業体制の強化に合意しました。

2. 概要**(1) Oxbotica について**

あらゆるモビリティ・場所に対応し、エコで安全かつ持続的に走行可能とする自動運転を目指し、自動運転システム開発をメインに取り組む企業です。

企業名	オックスボティカ Oxbotica Limited	
代表者	創業者・C T O <small>ポール ニューマン</small> Paul Newman（オックスフォード大学教授） C E O <small>ギャビン ジャクソン</small> Gavin Jackson	
本社所在地	英国オックスフォード	
設立年	2014 年 9 月 30 日	
事業内容	自動運転ソフトウェアの開発・ライセンス販売 (B2B)	
ホームページ	https://www.oxbotica.com	

(2) Oxbotica の提供するシステムの特長・詳細について**①Oxbotica Driver**

あらゆる分野（鉱山、工場、飛行場、道路等）・地域（欧州、北米、豪州等）・天候（雨、霧、雪等）で使用されるあらゆるタイプの車両（シャトルバス、デリバリー車両、マイニングトラック等）に搭載可能なソフトウェアです。GPS や高精度 3 次元地図データに依存することなく自動運転を可能にします。

②Oxbotica Cloud

車両の位置検索や車両状態のリアルタイム把握等、車両管理を可能にするクラウドベースの管理システムです。同システム単独での使用も、他のシステムとの接続も可能です。様々な地域や分野において活用し、本システムに運転経験を学習させることで、更なる機能向上に繋がっていきます。

③Oxbotica Meta Driver

最先端の AI を活用した 3D シミュレーションソフトです。実際の走行場面の時間帯・天候等を合成映像で変更することで、様々な走行場面を再現できます。実車のテストでは再現が難しかった走行ケースも含め、大量の仮想シミュレーションを行うことで、自動運転の安全で効率的な実装を促進します。また、現実世界で時間のかかる運転学習を効率化します。

3. 今後の展開

当社は、Oxboticaのグローバル戦略に合わせ、該社独自の自動運転システムを活用しながら、完全自動運転の特徴を踏まえた保険のあり方を検討していきます。検討にあたっては、2015年に当社がANDELを通じて買収した英国テレマティクス自動車保険大手のInsureTheBoxや世界各地で培ったテレマティクスのノウハウも活用し、高度なデータサイエンスを駆使した無人自動運転車向けの商品・サービス開発を、Oxboticaに出資する他の戦略的株主との論議の場も設けながら進めていきます。

また、最先端のAIを有する当社の研究開発拠点（Aioi R&D Lab -Oxford 11月15日設立^{※1}）と連携し本取組の加速と深化を図り、「CSV×DX（シーエスブイバイディーエックス）^{※2}」に基づく商品・サービス開発を進め、自動運転車の普及促進と安全・安心なモビリティ社会の実現にグローバルに貢献していきます。

※1 【業界初】英国オックスフォード大学のAIベンチャーと共同研究所を設立

https://www.aioinissaydowa.co.jp/corporate/about/news/pdf/2022/news_2022120801085.pdf

※2 CSV・・・Creating Shared Value（社会との共通価値の創造）

DX・・・Digital Transformation（データやデジタルを活用し、価値提供を変革させること）



以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DXを通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取組みます。

